
Ekran v.6.14

リリースノート

Rev. 1.0

2020.06.04



目次

1	v.6.14 の機能	1
1.1	エンタープライズ版	1
1.1.1	踏み台でのパスワード代行入力機能の接続ポート変更への対応	1
1.2	スタンダード版、エンタープライズ版共通	1
1.2.1	Ekran 管理ツールへの同時ログインの制御	1
1.2.2	記録セッションの記録時間でのフィルター	1
1.2.3	ユーザー管理ページの改良	1
1.2.4	SSH 記録セッション再生解像度の改善	1
2	v.6.13.1 の新機能	1
2.1	エンタープライズ版	1
2.1.1	踏み台でのパスワード代行入力がされたセッションのハイライト表示	1
2.2	スタンダード版、エンタープライズ版共通	2
2.2.1	記録対象 Windows での記録中アイコンの表示	2
2.2.2	Amaon Linux WorkSpaces への対応	2
3	v.6.8.1 の新機能	2
3.1	スタンダード版、エンタープライズ版共通	2
3.1.1	スクリーンショット転送方法の調整	2
3.1.2	クライアントライセンス改良	2
4	v.6.7.1 の新機能	2
4.1	エンタープライズ版	2
4.1.1	踏み台パスワード管理機能の改善	2
4.2	スタンダード版、エンタープライズ版共通	2
4.2.1	アラート時のメッセージカスタマイズ	2
5	v.6.6.1 の新機能	3
5.1	スタンダード版、エンタープライズ版共通	3
5.1.1	X Window System 記録時のアラート生成	3
5.1.2	セッション一覧ページ UX/UI 改善	3
5.1.3	ライブ再生のパフォーマンス改善	3
6	v.6.5.7 の新機能	3
6.1	エンタープライズ版	3
6.1.1	HA モードの PostgreSQL サポート	3
7	v.6.5.5 の新機能	3
7.1	スタンダード版、エンタープライズ版共通	3

7.1.1	データベース変換ツール.....	3
8	v.6.5.4 の新機能.....	4
8.1	エンタープライズ版.....	4
8.1.1	テナントモードのテナント管理者として AD ユーザーグループを指定可能..	4
8.1.2	踏み台のパスワード管理で AD ユーザーグループを使用可能.....	4
8.2	スタンダード版、エンタープライズ版共通.....	4
8.2.1	Linux クライアントのパフォーマンス改善.....	4
9	v.6.5.3 の新機能.....	4
9.1	エンタープライズ版.....	4
9.1.1	チケットシステム連携の強化.....	4
10	v.6.5.2 の新機能.....	4
10.1	スタンダード版、エンタープライズ版共通.....	4
10.1.1	X Window System の操作記録（ベータ版）.....	4
11	v.6.5.1 の新機能.....	5
11.1	エンタープライズ版.....	5
11.1.1	ワンタイムパスワードの個別承認なしでの自動発行.....	5
11.2	スタンダード版、エンタープライズ版共通.....	5
11.2.1	クライアント動作ログの出力レベルの指定.....	5
12	v.6.5 の新機能.....	5
12.1	エンタープライズ版.....	5
12.1.1	アーカイブ・クリーンアップ機能のクライアント別設定.....	5
12.1.2	ジャンプサーバー経由のアクセス先アカウントのパスワード管理（ベータ版）	5
12.2	スタンダード版、エンタープライズ版共通.....	6
12.2.1	オフラインキャッシュの無効化.....	6
12.2.2	Linux クライアントのオフラインキャッシュの保護.....	6
13	v.6.4.3 の新機能.....	6
13.1	スタンダード版、エンタープライズ版共通.....	6
13.1.1	クライアントインストール用 INI ファイルの暗号化.....	6
14	v.6.4.2 の新機能.....	6
14.1	スタンダード版、エンタープライズ版共通.....	6
14.1.1	Ekran 用データベースへの接続パスワードの変更と、画像ファイル保存先変更を行えるツールの同梱.....	6
14.1.2	Ekran ユーザー用パスワードのポリシー強化：8 文字以上、英字・数字・記号の使用	7
15	v.6.4.1 の新機能.....	7

15.1	エンタープライズ版.....	7
15.1.1	音声録音.....	7
15.2	スタンダード版、エンタープライズ版共通.....	7
15.2.1	記録有効無効のユーザー別設定で AD ユーザーグループの指定可能.....	7
15.2.2	レポートタイプの追加：ジャンプサーバーへの接続に関するレポート.....	7
16	v.6.4 の新機能.....	7
16.1	エンタープライズ版.....	7
16.1.1	ユーザー行動分析（ベータ版）：現状、通常と異なる時間帯のログイン-ログアウト時刻の監視のみ.....	7
16.1.2	SWIFT ユーザー名への対応.....	8
16.2	スタンダード版、エンタープライズ版共通.....	8
16.2.1	Linux クライアントでの 2 要素認証（ソフトウェアトークン認証）.....	8
16.2.2	VDI 対応の強化：シャットダウン時のライセンス自動解放.....	8
16.2.3	クライアントログファイルの管理ツールからの収集.....	8
17	v.6.3.4 の新機能.....	8
17.1	エンタープライズ版.....	8
17.1.1	テナントへの Linux クライアントの追加が可能.....	8
17.1.2	USB デバイス使用のリアルタイム手動承認.....	8
18	v.6.3.3 の新機能.....	9
18.1	スタンダード版、エンタープライズ版共通.....	9
18.1.1	Linux クライアントでのログインのリアルタイム手動承認対応.....	9
18.2	エンタープライズ版.....	9
18.2.1	ログインのリアルタイム手動承認を必要としない時間帯の設定が可能.....	9
19	v.6.3.2 の新機能.....	9
19.1	スタンダード版、エンタープライズ版共通.....	9
19.1.1	セッション一覧ページに表示中の一覧の CSV エクスポート.....	9
19.2	エンタープライズ版.....	9
19.2.1	Ekran の動作ログの Windows イベントログへの出力.....	9
19.2.2	SIEM へのイベントの送信.....	10
20	v.6.2.3 の新機能.....	10
20.1	スタンダード版、エンタープライズ版共通.....	10
20.1.1	X Window System の記録（ベータ版）：現状 10 秒に 1 回の定期取得.....	10
21	v.6.2 の新機能.....	10
21.1	スタンダード版、エンタープライズ版共通.....	10
21.1.1	Ekran データベースの PostgreSQL 対応.....	10
21.1.2	レポートタイプの追加：時間外のユーザーログイン.....	10

21.1.3	Linux クライアントでの記録有効無効のユーザー別設定.....	10
21.1.4	Linux クライアントのオフラインキャッシュ容量を指定可能.....	10
21.1.5	レポートの改良：セッション一覧レポートでユーザーコメントも出力....	11
21.1.6	サンプルアラートルールのアップデート	11
21.1.7	レポート作成ページの構成変更.....	11
21.1.8	Putty 使用時の Ubuntu ターミナルの再現画面の改良.....	11
21.1.9	サポート期限終了の事前通知	11
21.2	エンタープライズ版.....	11
21.2.1	ServiceNow チケットシステムへの対応	11
21.2.2	メンテナンス時データベース一時切り離し.....	11
22	v.6.1 の新機能	11
22.1	スタンダード版、エンタープライズ版共通	11
22.1.1	管理ツールのインターフェース改良	11
22.1.2	Linux クライアントの限定的保護機能	12
22.1.3	VMware Horizon でのリモート IP の検出	12
22.1.4	IPv6 リモートアドレスの表示等 IPv6 対応強化.....	12
22.1.5	アラートタイプの追加：クリップボードテキストでアラート生成.....	12
22.2	エンタープライズ版.....	12
22.2.1	Ekran 動作状況のモニター.....	12
22.2.2	Ekran サーバーHW リソースのモニター	12
22.2.3	指定期間以上接続のないクライアントの検出・通知	12
22.2.4	記録有効無効のリモート IP アドレス別設定.....	12
22.2.5	ログインのリアルタイム手動承認を必要とするコンピューターのグループ 指定可能	13
22.2.6	HA モードの改良：独立ライセンスサーバーの廃止.....	13
23	v.6.0 の新機能	13
23.1.1	マルチテナントモードの追加（Windows クライアントのみ）	13
23.1.2	キーストローク有効無効のアプリケーション別設定	13
23.1.3	レポートにカスタムロゴを挿入可能	13

1 v.6.14 の機能

1.1 エンタープライズ版

1.1.1 踏み台でのパスワード代行入力機能の接続ポート変更への対応

Windows Server 踏み台でのパスワード代行入力機能を使うためのシークレットの設定の際に、踏み台の先のコンピューターへの接続に用いるポート番号を指定できるようになりました (Windows への接続では RDP、Linux への接続では SSH)。

踏み台上の接続マネージャーはシークレットの設定にしたがって、ユーザー名とパスワードを代行入力し、指定されたポートを使用して接続を確立します。

1.2 スタンダード版、エンタープライズ版共通

1.2.1 Ekran 管理ツールへの同時ログインの制御

同一ユーザー名での Ekran 管理ツールへの同時ログインを許可するかしないかを設定可能になりました。

1.2.2 記録セッションの記録時間でのフィルター

記録セッションをこれまでのユーザー名、開始時間等でのフィルタリングに加えて、記録時間(長さ)も指定してフィルターできるようになりました。

1.2.3 ユーザー管理ページの改良

管理ツールのユーザー管理ページ UI が最適化されました。

1.2.4 SSH 記録セッション再生解像度の改善

セッションプレイヤーでの SSH 記録セッション再生時の解像度が改善されました。

2 v.6.13.1 の新機能

2.1 エンタープライズ版

2.1.1 踏み台でのパスワード代行入力がされたセッションのハイライト表示

セッション一覧にて、記録内の操作に踏み台でのパスワード代行入力が含まれるセッションを素早く見つけることが可能になりました。またセッション内の当該操作は青くハイライト表示されません。

2.2 スタンダード版、エンタープライズ版共通

2.2.1 記録対象 Windows での記録中アイコンの表示

ユーザーが記録対象 Windows で操作を行っているとき、ユーザーに現在記録が行われていることをアイコン表示によって知らせることができます。

2.2.2 Amaon Linux WorkSpaces への対応

Ekran Linux 用クライアントによる Amazon Linux Workspaces の記録が改善されました。

3 v.6.8.1 の新機能

3.1 スタンダード版、エンタープライズ版共通

3.1.1 スクリーンショット転送方法の調整

Ekran クライアントが Ekran サーバーにスクリーンショットを転送する際、即時送信をやめて指定秒数に 1 回送信する、スクリーンショットの圧縮率を高める等により、データ転送量を調整できるようになりました。

3.1.2 クライアントライセンス改良

クライアントライセンスの取り扱いを改良しました。

4 v.6.7.1 の新機能

4.1 エンタープライズ版

4.1.1 踏み台パスワード管理機能の改善

踏み台上の Ekran クライアントが踏み台の先のユーザー名・パスワードを代行入力する機能で、どのパスワードが代行入力されるかを、踏み台ログイン時の Ekran 二次認証の Ekran ユーザーグループごとに設定できるようになりました。

4.2 スタンダード版、エンタープライズ版共通

4.2.1 アラート時のメッセージカスタマイズ

アラート生成時、ユーザーに表示するメッセージのカスタマイズ性が向上しました。

5 v.6.6.1 の新機能

5.1 スタンダード版、エンタープライズ版共通

5.1.1 X Window System 記録時のアラート生成

X Window System 上での GUI 操作の記録時に、以下のようなアラートを生成可能になりました。

- 端末(ウィンドウ)で特定のコマンド・パラメーターを入力。
- 潜在的に不正、または業務と無関係のアプリケーションの起動。
- 機密データを含むドキュメントを開く。
- 特定ユーザーのマシン使用開始。

5.1.2 セッション一覧ページ UX/UI 改善

Web 管理ツールの記録セッション一覧ページの表示が改善されました。

5.1.3 ライブ再生のパフォーマンス改善

記録中のセッションをセッションプレイヤーでリアルタイム再生したときのパフォーマンスが改善されました。

6 v.6.5.7 の新機能

6.1 エンタープライズ版

6.1.1 HA モードの PostgreSQL サポート

Ekran サーバーを高可用性モードでセットアップ・運用する場合、これまでの MS SQL Server に加えて PostgreSQL も使用可能になりました。

7 v.6.5.5 の新機能

7.1 スタンダード版、エンタープライズ版共通

7.1.1 データベース変換ツール

Ekran の Firebird サポート終了に伴い、これまで Firebird データベースに記録してきたデータを PostgreSQL データベースに変換するツールを提供します。

8 v.6.5.4 の新機能

8.1 エンタープライズ版

8.1.1 テナントモードのテナント管理者として AD ユーザーグループを指定可能

従来はテナント作成時にテナント管理者としてユーザーアカウントを一つずつ追加する必要がありました。新バージョンでは Active Directory ユーザーグループをテナント管理者として追加することが可能になりました。

8.1.2 踏み台のパスワード管理で AD ユーザーグループを使用可能

踏み台からの接続先のパスワード管理機能で、シークレットとして Active Directory のユーザーグループが使用可能になりました。

8.2 スタンダード版、エンタープライズ版共通

8.2.1 Linux クライアントのパフォーマンス改善

9 v.6.5.3 の新機能

9.1 エンタープライズ版

9.1.1 チケットティングシステム連携の強化

Ekran とチケットティングシステムを連携させる際に、Rest ベース HTTP アプリケーションの API ブリッジを使用可能になりました。

10 v.6.5.2 の新機能

10.1 スタンダード版、エンタープライズ版共通

10.1.1 X Window System の操作記録(ベータ版)

X Window System での GUI 操作の記録時に以下のパラメーターを指定できます。

[訳注: まだ実装されていません。今後変更となることもあります。]

- イベントごとにスクリーンショットを生成する: ユーザー操作の記録頻度を指定できるようになりました。例えば、キーボードのキー入力やターミナルでのコマンド入力ですべてスクリーンショットを生成することができます。

-
- アクティブウィンドウのみ記録: デスクトップ全体ではなく、アクティブウィンドウのみのスクリーンショットを生成することが可能になりました。
 - スクリーンショットを生成しない: スクリーンショットを生成せずに、時刻、ウィンドタイトル、アプリケーション名、関数呼び出し、等のテキストデータ(メタデータ)のみを記録できるようになりました。この設定により Ekran クライアントから Ekran サーバーに送られるデータの量が削減されます。

11 v.6.5.1 の新機能

11.1 エンタープライズ版

11.1.1 ワンタイムパスワードの個別承認なしでの自動発行

ワンタイムパスワードは通常 Ekran 管理者による個別承認によって発行されますが、指定した信頼できるユーザーについては個別承認なしに自動的に発行することが可能になりました。Ekran クライアントがインストールされ、ワンタイムパスワードが有効にされた Windows にログインする際、信頼済みユーザーがワンタイムパスワードの発行依頼ボタンをクリックすると、ワンタイムパスワードは Ekran 管理者の承認なしに直ちに発行され、ユーザーのメールアドレスに送信されます。

11.2 スタンダード版、エンタープライズ版共通

11.2.1 クライアント動作ログの出力レベルの指定

Ekran クライアントのデバッグ用動作ログで、どの重要度レベルのイベントを出力させるかを指定できるようになりました。

12 v.6.5 の新機能

12.1 エンタープライズ版

12.1.1 アーカイブ・クリーンアップ機能のクライアント別設定

これまでアーカイブ・クリーンアップの設定は全クライアントで共通の設定でしたが、このバージョンからは、クライアント別またはクライアントグループ別の設定ができるようになりました。例えば、クリーンアップ処理をするかアーカイブ処理をするかをクライアントによって変えたり、記録データの保持期間をクライアントグループによって変えたりすることができます。

12.1.2 ジャンプサーバー経由のアクセス先アカウントのパスワード管理(ベータ版)

ジャンプサーバー(踏み台)に Ekran クライアントをインストールし、この踏み台から別コンピュータ

ーにリモートログインして作業をする使用方法で、接続先の別コンピューターのアカウント名とパスワードを Ekran サーバーにセキュアに保管する機能が追加されました。踏み台にログインしたユーザーは Ekran クライアントが提示する接続先コンピューターを選択してリモートログインをします。どのユーザーがどの接続先へ接続できるかを制御でき、またユーザーに接続先のパスワードを知らせないでおくことができます。

12.2 スタンダード版、エンタープライズ版共通

12.2.1 オフラインキャッシュの無効化

Ekran クライアントの記録設定で Ekran サーバーとの通信切断時に記録データをローカルにキャッシュするオフラインキャッシュ機能を無効に設定することが可能になりました。

12.2.2 Linux クライアントのオフラインキャッシュの保護

13 v.6.4.3 の新機能

13.1 スタンダード版、エンタープライズ版共通

13.1.1 クライアントインストール用 INI ファイルの暗号化

Ekran クライアントインストーラーの記録設定.ini ファイル作成時に、ファイルを暗号化する機能が追加されました。これにより.ini ファイルの改変が困難になります。

14 v.6.4.2 の新機能

14.1 スタンダード版、エンタープライズ版共通

14.1.1 Ekran 用データベースへの接続パスワードの変更と、画像ファイル保存先変更を行えるツールの同梱

これまで、Ekran サーバーが Ekran 用データベースに接続するときのログインとパスワードは、Ekran サーバーのインストール時にしか指定できず、インストール後の変更ができませんでした。また、画像ファイルの保存先の変更はレジストリを編集する必要がありました。このバージョンからはデータベース接続ログインとパスワード、また画像ファイルの保存先を指定できる GUI ツールが同梱され、これらの設定を変更できるようになりました。

14.1.2 Ekran ユーザー用パスワードのポリシー強化:8 文字以上、英字・数字・記号の使用

Ekran 管理ツールのユーザーを作成する際に設定するパスワードが次の条件を満たしているかチェックされるようになりました:8 文字以上であること、英字と数字と記号の 3 種類の文字が含まれること。(大文字と小文字を含むこともチェックされます)

15 v.6.4.1 の新機能

15.1 エンタープライズ版

15.1.1 音声録音

画面の画像記録と、テキストデータの記録に加え、Windows 上の音声の入出力も記録ができるようになりました。音声はセッションプレイヤーで再生でき、持ち出し用プレイヤーへのエクスポートも可能です。

15.2 スタンダード版、エンタープライズ版共通

15.2.1 記録有効無効のユーザー別設定で AD ユーザーグループの指定可能

これまでは、記録の有効無効は OS ログインユーザー1 つずつを指定する必要がありましたが、このバージョンからは Active Directory ユーザーグループを使って指定できるようになりました。例えば、Domain Admins に属するユーザーの操作を記録し、それ以外のユーザーの操作は記録しない設定ができます。

15.2.2 レポートタイプの追加:ジャンプサーバーへの接続に関するレポート

ジャンプサーバー(踏み台)へのログインユーザーの数を集計するレポートが追加されました。

16 v.6.4 の新機能

16.1 エンタープライズ版

16.1.1 ユーザー行動分析(ベータ版):現状、通常と異なる時間帯のログイン-ログアウト時刻の監視のみ

ユーザー行動分析機能が追加され、ユーザーベースの攻撃をより効果的に検知できるようになりました。ユーザー行動分析機能では、ユーザーの普段の操作をベースラインとし、普段と異なる操作やアカウントの不正利用を検知します。検知結果はセッションプレイヤーやレポートによって確

認することができます。今後ユーザー行動分析に用いられる要素を追加していく予定です。

16.1.2 SWIFT ユーザー名への対応

SWIFT 環境における SWIFT ユーザー名の記録が可能になりました。SWIFT ネットワークへのログインに使用されたユーザー名は Ekran サーバーのログファイルで確認できます。

16.2 スタンダード版、エンタープライズ版共通

16.2.1 Linux クライアントでの 2 要素認証(ソフトウェアトークン認証)

これまで 2 要素認証(ソフトウェアトークン認証)は Windows クライアントでのみ使用できましたが、Linux クライアントでも使用できるようになりました。Ekran クライアントがインストールされ、2 要素認証が有効にされた Linux にログインするとき、ユーザーは通常ユーザー名とパスワードに加え、モバイルデバイスに表示される時間ベースのワンタイムパスワードを入力する必要があります。

16.2.2 VDI 対応の強化:シャットダウン時のライセンス自動解放

これまでは一時的にユーザー操作を記録したコンピューターのクライアントライセンスを解放するには、管理者が Ekran 管理ツールでライセンス開放を行う必要がありました。このバージョンからはライセンスのシャットダウン時の自動解放を有効にすることで、使用のたびに初期化される VDI の仕様終了時にライセンスが自動解放されます。

16.2.3 クライアントログファイルの管理ツールからの収集

これまで Ekran クライアントが出力する動作ログファイルは各コンピューターにログインして回収する必要がありました。このバージョンからは Ekran 管理画面のログ取得ボタンをクリックすることで Ekran クライアントの動作ログを Ekran サーバー経由で取得できるようになりました。

17 v.6.3.4 の新機能

17.1 エンタープライズ版

17.1.1 テナントへの Linux クライアントの追加が可能

これまでテナントモードでの各テナントには Windows クライアントを追加できましたが、このバージョンからは Linux クライアントも追加可能になりました。

17.1.2 USB デバイス使用のリアルタイム手動承認

Ekran によって USB デバイスの使用が禁止されている Windows にて、ユーザーが USB デバイスの使用許可を Ekran 管理者に送信し、許可の場合に一時的に使用禁止が解除される機能が追加

されました。

18 v.6.3.3 の新機能

18.1 スタンダード版、エンタープライズ版共通

18.1.1 Linux クライアントでのログインのリアルタイム手動承認対応

Ekran 管理者の承認が得られるまで、ユーザーのコンピューターへのログインを保留する機能は、これまでは Windows クライアントでのみ使用できましたが、このバージョンからは Linux クライアントにも対応しました。

18.2 エンタープライズ版

18.2.1 ログインのリアルタイム手動承認を必要としない時間帯の設定が可能

Ekran 管理者の承認が得られるまで、ユーザーのコンピューターへのログインを保留する機能で、ログインユーザーが管理者の承認を必要とする時間帯を指定する機能が追加されました。例えば、ユーザーは指定された勤務時間内は管理者の承認なしで直ちにコンピューターにログインでき、それ以外の時間では承認が得られるまでログインができないように設定できます。

19 v.6.3.2 の新機能

19.1 スタンダード版、エンタープライズ版共通

19.1.1 セッション一覧ページに表示中の一覧の CSV エクスポート

Ekran 管理ツールのセッションプレイヤーページに表示されているセッションの一覧を CSV ファイルにエクスポートできるようになりました。各セッションのユーザー名、記録開始時刻等を使用して、外部ツールでセッションの分析を行えます。

19.2 エンタープライズ版

19.2.1 Ekran の動作ログの Windows イベントログへの出力

Ekran サーバーや Ekran クライアントのデバッグ目的でログファイルに出力されるエラー、情報、警告イベントを、Windows イベントにも出力できるようになりました。これにより Ekran の動作状況をモニターできます。

19.2.2 SIEM へのイベントの送信

これまで、記録したテキストデータは GEF/LEEF 形式にしてファイルに保存することができました。このバージョンからは記録したテキストデータを Splunk、ArcSight、QRadar といった SIEM システムのサーバーに送信することが可能になりました。

20 v.6.2.3 の新機能

20.1 スタンダード版、エンタープライズ版共通

20.1.1 X Window System の記録(ベータ版):現状 10 秒に 1 回の定期取得

これまで Linux 用 Ekran クライアントは端末上のテキストコマンドと出力の記録のみに対応していましたが、このバージョンからは X Window System の GUI 記録にも対応しました。X Window System から開始された端末エミュレーターのテキストセッションも記録できます。

21 v.6.2 の新機能

21.1 スタンダード版、エンタープライズ版共通

21.1.1 Ekran データベースの PostgreSQL 対応

データの保管用データベースとしてこれまでの Microsoft SQL Server に加えて、PostgreSQL も使用できるようになりました。なお、Ekran の組み込み Firebird は将来廃止される予定です。

21.1.2 レポートタイプの追加:時間外のユーザーログイン

勤務時間外にユーザーがコンピューター操作を行っていた時間をレポートする機能が追加されました。

21.1.3 Linux クライアントでの記録有効無効のユーザー別設定

これまでユーザによって操作を記録するかしないかの設定は Windows クライアントのみで使用できましたが、このバージョンからは Linux クライアントでも設定可能になりました。

21.1.4 Linux クライアントのオフラインキャッシュ容量を指定可能

Ekran サーバーとの接続切断時に Ekran クライアントがローカルにキャッシュするデータの容量はこれまで Windows クライアントでのみ指定可能でした。このバージョンからは Linux クライアントのキャッシュ容量も指定できます。

21.1.5 レポートの改良:セッション一覧レポートでユーザーコメントも出力

セッション一覧レポートの項目としてユーザーがログイン時に書き込んだコメントも出力されるようになりました。

21.1.6 サンプルアラートルールのアップデート

潜在的に危険なユーザー操作を検知するためのアラートルールのサンプル(英語環境用)がアップデートされ、サンプル数が増えました。

21.1.7 レポート作成ページの構成変更

レポート作成ページのページ構成が変更されました。

21.1.8 Putty 使用時の Ubuntu ターミナルの再現画面の改良

21.1.9 サポート期限終了の事前通知

サポートライセンスが期限切れに近づいた時に、通知を出す機能が追加されました。

21.2 エンタープライズ版

21.2.1 ServiceNow チケットリングシステムへの対応

チケットリングシステム連携機能は、これまで SysAid に対応していましたが、このバージョンからはさらに ServiceNow にも対応しました。ユーザーは Windows クライアントがインストールされ、チケットリング番号の入力が有効にされている Windows にログインする際に有効なチケットリング番号を入力する必要があります。記録セッションはチケットリング番号で検索可能になります。

21.2.2 メンテナンス時データベース一時切り離し

Ekran クライアントと Ekran サーバーのデータベースとの接続を管理画面のボタンクリックで遮断する機能が追加され、Ekran サーバーサービスを停止しなくてもデータベースのクリーンアップやメンテナンスを実行できるようになりました。データベースのメンテナンスが終わったら Ekran クライアントを 1 クリックでオンライン状態に戻せます。

22 v.6.1 の新機能

22.1 スタンダード版、エンタープライズ版共通

22.1.1 管理ツールのインターフェース改良

Ekran 管理ツールの UI デザインが変更され、快適性が増しました。

22.1.2 Linux クライアントの限定的保護機能

Ekran Linux クライアントの記録プロセスが kill された場合でも、記録は継続され記録データはオフラインキャッシュに保存されます。次回、Ekran Linux クライアントが正常に起動されると、オフラインキャッシュの内容は Ekran サーバーに送信されます。

22.1.3 VMware Horizon でのリモート IP の検出

VMware Horizon 環境のクライアントの IP アドレスをセッション検索時に使用可能になりました。

22.1.4 IPv6 リモートアドレスの表示等 IPv6 対応強化

これまで、Ekran クライアントは記録対象コンピューター (Ekran クライアントのインストールされたコンピューター) のローカル IPv6 アドレスを記録しましたが、このバージョンからは、記録対象コンピューターへのリモートデスクトップ接続元の IPv6 アドレスも記録されるようになりました。

22.1.5 アラートタイプの追加:クリップボードテキストでアラート生成

Windows コンピューターでクリップボードへのコピー・切り取りイベントでアラートを生成することと、クリップボードからの貼り付けイベントでアラートを生成することが可能になりました。

22.2 エンタープライズ版

22.2.1 Ekran 動作状況のモニター

Ekran のデータベース使用容量や内部エラーの状況等を管理ツール上でモニターし、またイベントをメール通知することが可能になりました。

22.2.2 Ekran サーバーHW リソースのモニター

Ekran サーバープロセスが消費する CPU リソースやデータベースへのレコード挿入数等を管理ツール上でモニターできるようになりました。

22.2.3 指定期間以上接続のないクライアントの検出・通知

管理者が指定した期間 (N 日) 以上 Ekran クライアントが Ekran サーバーから認識されないとき、管理者にメール通知することが可能になりました。Ekran クライアントに問題が発生した時にこれに気が付く助けになります。

22.2.4 記録有効無効のリモート IP アドレス別設定

このバージョンからは記録対象コンピューター (Ekran クライアントのインストールされたコンピューター) へのリモートデスクトップ接続元 IP アドレスによって、ユーザー操作を記録するかしないかを選択することが可能になりました。

22.2.5 ログインのリアルタイム手動承認を必要とするコンピューターのグループ指定可能

ユーザーがWindowsコンピューターにログインするときにEkran管理者の承認を必要とする設定で、この設定の対象とするコンピューターと対象としないコンピューターを Ekran 管理ツールで設定済みのコンピューターグループ単位で指定可能になりました。

22.2.6 HA モードの改良:独立ライセンスサーバーの廃止

これまで Ekran サーバーを複数台高可用性モードで動作させる場合、独立のライセンスサーバーが必要でしたが、このバージョンからは不要になりました。

23 v.6.0 の新機能

23.1.1 マルチテナントモードの追加(Windows クライアントのみ)

1つのEkranサーバーに複数のテナントを設けることが可能になりました。各テナントは独立しており、それぞれ個別のEkran管理ユーザー、記録済みデータ、Ekranクライアントのリスト、記録設定等を含みます。

23.1.2 キーストローク有効無効のアプリケーション別設定

ユーザー操作記録中にキーストロークの記録も行うかを、特定アプリケーション名で行う(行わない)ように指定が可能になりました。

23.1.3 レポートにカスタムロゴを挿入可能

レポートに挿入されるロゴ画像を指定できるようになりました。

(最終ページ)

日本語マニュアル発行日 2020年06月04日

本マニュアル原文は『Ekran System Release Notes』です

ジュピターテクノロジー株式会社